JAグループ石川は

持続可能な地域農業・地域社会の実現に向けて

SDGs

に取組んでいます！

JAグループ石川

SDGsとは？

ＳＤＧｓは、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals=SDGs）」の略称です。

国連により定められ、2016年から2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際的な取組目標であり、「誰一人取り残さない」を基本理念としています。

その内容は、「17の目標（ゴール）」と、その目標を達成するための「169のターゲット」で構成されています。

ＪＡグループ石川のSDGｓ

農業
に関する事項

1. 持続可能な地域農業の確立に向けた、次世代後継者の確保や経営基盤・農地の維持・確立
2. 農家の手取り最大化や農業生産基盤の安定化に向けた農業者の支援
3. 県産農畜産物の安定生産、販売体制の構築に向けた生産振興や戦略的な販売体制構築、地産地消の促進
4. 営農指導体制の確立・実践強化に向けた人材育成やデジタル技術の活用

ＪＡグループ石川がSDGｓに取り組む意義

協同組合の視点

ＪＡグループ石川は、協同組合であるＪＡと、ＪＡが会員となり運営する中央会、連合会および関連組織で構成されるグループの総称です。

協同組合は「誰一人取り残さない」を基本理念に掲げるSDGｓと深く関わりがあり、SDGｓの実現にあたって重要な役割を担う民間セクターに位置付けられています。

ＪＡグループ石川は、組合員の共同の利益の実現に向けた事業・活動を通じ、地域にお住いの方の食やくらしに貢献する視点から、ＳＤＧｓに取り組んでいます。

持続可能な食と地域社会づくりの視点

ＪＡグループでは、急速な農業者の減少や高齢化による農業生産基盤の弱体化等の環境変化に対して、「持続可能な農と地域づくり」を提案し、「食料安全保障」の観点から政策の確立や国民理解の浸透を目指しています。

ＪＡグループ石川では、県内農業・社会を持続可能とするため、「農業」「くらし・地域」の分野で事業・活動を行っています。

実践事項の紹介

くらし
地域
に関する事項

1. 多様な組合員の運営参画の促進
2. 青年・女性の活躍促進に向け、仲間づくりの場の魅力向上や新規加入者の参加による組織の活性化
3. 新規加入者や次世代を担う組合員に向けた組合員学習の実践
4. 生活インフラの提供や地域組織の活動支援や連携による地域の活性化

農業に関する取り組み

能登北部ＪＡ農機センター

ＪＡおおぞら、ＪＡ内浦町、ＪＡすずしの７農機センターを統合し、ＪＡ域を超えた広域拠点として稼働を開始しました。

農機の大型化やハイテク化に対応し、担い手を中心とした組合員への恒常的なサポート体制を構築しています。

JAおおぞら・JA内浦町・JAすずし・JA全農いしかわ

運営の効率化で施設を維持し農業者をサポート！

農業関連施設の広域利用

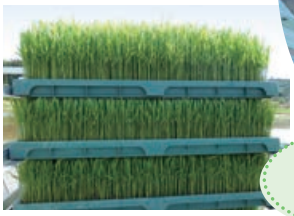
農家の手取り最大化を目指し、ＪＡ農業関連施設（ブロッコリー選果施設）を近隣ＪＡの生産者も利用できる体制とし、ＪＡ域を超えた共同利用を行っています。

JAすずし

高密度播種育苗の実施

高密度播種育苗の拡大により、苗箱１箱当たりの労働・管理の省力化やコストの低減に努めています。

JA石川かほく



育苗コスト低減！

廃プラ・廃農薬回収事業

JA能美

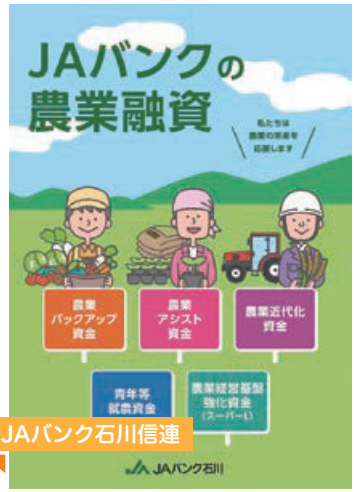
農業者のコスト低減と
地域環境保全の両立！

廃プラスチックや廃農薬を回収することで、農業従事者のコスト削減を支援しています。

廃プラスチックや廃農薬は地球環境保護の観点から、廃棄方法も限られるため、それらの回収は農業従事者の方々から喜ばれています。

農業経営のバックアップ

担い手農業者や地域農業者の借入金負担軽減のため、農業近代化資金、農業バックアップ資金、農業アシスト資金等の借入者に対し、利息の一部助成・補助を実施しています。



JAバンク石川信連

農業の低コスト化に向けた研修会

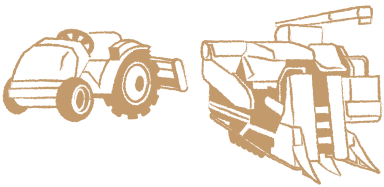
増収・低コスト・省力化に向けた新たな栽培技術の普及拡大を目指し、ドローンの実演会を開催しています。

JA松任

農業機械修理研修会

JA能登わかば

農業機械の修理・修繕スキルを身に付けることで、農業機械の修理費用の削減を支援しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

農業を通じた
地域の維持・活性化！

ブランド米の発信と医療従事者への寄贈

JA志賀

管内で生産される米のうち一定の基準を満たしたものを「志賀米」としてブランド化しています。
「志賀米」を使用した「志賀米パックご飯」をコロナ禍で多忙を極める医療従事者へ贈呈しました。

耕作放棄地の発生抑制と利活用

山間にある３haもの広大な耕作放棄地にひまわり畑を作成し、多くの人が来場し地域の活性化にもつながりました。

JA小松市

体験型農園の開設・運営支援

農業者の所得向上と
地域住民の農業理解促進！

JA金沢市

都市農地の有効活用を図るため、農具、倉庫、水道等の施設を整備した体験型農園の開設・運営を支援しています。

くらし地域に関する取り組み

生活インフラの提供

買物支援でくらしやすい社会を！

JAおおぞら

買い物難民の解消のため、移動手段のない方に向けた、Aコープ行きの買い物バスを運行しています。

高齢者見守り活動の促進

JA白山

毎月、管内の組合員世帯を対象にした、「ふれあい訪問活動」を実施しています。また、白山市と高齢者の安否確認に関する協定を締結し、訪問活動を通じた地域の見守り活動も実施しています。

フードドライブの実施

女性部の声で始まった活動で、今では青年部やＪＡと協力して実施しており、集まった食材は管内のフードバンクへ寄贈しています。

JA金沢中央

愛の助け合い運動

JA石川県中央会

ＪＡ石川県女性組織協議会では、よりよい地域福祉・社会づくりを目指して、昭和44年から「愛の助け合い運動」を実施しており、金沢市内の福祉施設５ヶ所にお米券を贈呈しています。

「愛の助け合い運動」は、本協議会だけでなく県内の各ＪＡ女性組織も取り組んでおり、それぞれの地域の実情に応じた贈り物を贈呈しています。

災害時の物資供給について羽咋市と協定を締結

地震や風水害などの大規模災害が発生した場合に、緊急車両等への石油燃料の優先供給や、災害対策上重要な施設への石油類燃料の優先供給する協定を羽咋市と締結しました。

ＪＡはくい　羽咋市

災害時における施設使用及び物資の供給に関する協定締結式

令和３年８月２０日（金）

JAはくい

農作業事故未然防止と保障の提供

農業者を取り巻くさまざまなリスクとその備えの確認を行う「農業リスク診断活動」や、農作業中の事故を疑似体験できる「農作業事故体験ＶＲ」を使用したイベントの開催を通じて農業におけるリスクを知っていただき、農業者の皆さまが安心して農業に取り組めるよう保障提供を行っています。

JA共済連石川

主婦大学の開催

女性部員の教育や意識改革、部員同士の接点や意識の共有を図ることを目的として、講師を招いての主婦大学を開催しています。

JA根上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

地域連携による地産地消の促進

「加賀梨」を利用した新スイーツを地元菓子店と共同開発し、地域連携や地産地消の推進と共に、地域の魅力を発信しています。

JA加賀

園児たちに地場産花をプレゼント

JAののいち

野々市産のエアリーフローラを卒園児たちに贈呈し、地区内の農業・農産物の魅力を発信しています。

節電対策グリーンカーテン

夏季の節電対策として、アサガオを用いたグリーンカーテンを作成しました。

JA内浦町

自己改革の新たなステージへ

組合員の声に基づく
「不断の自己改革によるさらなる進化」

JAグループ石川